

島根県におけるヘルスケア産業創出・推進の方向性(案)

1. まち・ひと・しごと創生「島根県総合戦略」(骨子)から抜粋

■基本目標1：しごとづくり と しごとを支える人づくり

(1) 地域産業の振興

2) 新産業・新事業の創出

【現状・課題】

- ・県内企業への産学官連携による技術支援や、異業種・異分野での連携を促進し、島根発の「オンリーワン」の技術・製品・サービス等を生み出すことが重要である。

【取り組みの方向性】

○「連携」による新製品・新技術の創出

- ・「健康」をキーワードに、健康増進を目的とした旅行商品や高齢者の生活支援サービスなどの産学官の連携、医療・福祉・農商工・IT等多様な分野の連携による、地域資源を活かした島根県ならではの「ヘルスケアビジネス」の創出を促進する。

2. 島根県におけるヘルスケア産業推進の視点

- 高齢化率全国3位の高齢化先進県である島根県において、地域のビジネスとして成立しうるモデルの共有、事業化による新産業創出。さらには、事業者の収益の増加や雇用創出
- 地域資源や地域産業と健康を組み合わせた新サービス創出が期待されており、事業者、商工関連団体、医療・福祉関係者、金融機関、有識者(大学等)など関係者の連携促進
- ヘルスケアサービスとして活用する地域資源の品質保証や供給体制の確保、商品やサービスの効果の科学的な検証
- 島根発のヘルスケアビジネスを選択してもらうためのブランディングや効果的な情報発信

3. 島根県が目指すヘルスケア産業の方向性

- 「健康」をキーワードとして地域資源を活用し、多様な分野が連携した島根県ならではの先進的ヘルスケアビジネスの創出及び活性化を図る。
- 県内で事業展開を進めることにより県民の健康寿命延伸(健康長寿日本一)に寄与し、さらには、全国展開、海外需要の取込みを図っていく。

[島根県ならではのヘルスケアビジネスとは]

- ◆地域資源の活用：「食・農産品(機能的食品・地域特産品等)」「観光(自然・温泉等)」「IT(Ruby等)」「ものづくり(医療介護器具等)」「アクティブシニア」などを健康と結びつける。
- ◆地域課題の解決：県内各地域をフィールドとして、各地域の健康維持・増進の課題解決につながるビジネスモデルを構築する。
- ◆産学官連携：島根大学・県立大学・松江高専との連携により、エビデンスの取得、サービスの検証、技術開発を行う。
- ◆ブランディング：神話、ご縁、美肌日本一、住みやすさ日本一などの全国に誇れるものを取り入れストーリー性を持たせる。

4. 島根発ヘルスケアビジネス創出の重点分野

- ①ものづくり・食品産業（健康×医×福×工）
- ②ヘルスツーリズム（健康×農×食×観光）
- ③生活・健康支援（健康×地域×医×福）

} × I T
「情報発信」「数値化」「見える化」

5. 成果指標（2020年度末）

◎島根らしいヘルスケアビジネス創出件数：10件

6. 県民の健康寿命延伸（健康長寿日本一）への寄与

○健康寿命（日常生活に制限がない期間の平均：平成22年）

	男性	女性
全国	70.42	73.62
1位	71.74（愛知県）	75.32（静岡県）
島根県	70.45（24位）	74.64（6位）

○県が推進している「健康長寿しまね県民運動」や国の「健康経営」の推進などとも連携し、地域住民への健康長寿への意識醸成を図るとともに、ヘルスケアビジネスを通じて県民の健康づくりを推進する。

◆健康長寿しまね県民運動（平成27年度取組のポイント）

○生涯を通じた健康づくり活動の推進「働きざかりの世代の健康づくり」「高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいつくり」

○住民主体の地区ごとの健康づくり活動の推進「ソーシャルキャピタルの醸成」

◆国：保険者機能を補完・充実する「健康経営」の推進

○経営者に対するノウハウの共有：健康経営ハンドブックの策定

○人材の育成・活用：健康経営アドバイザー制度の創設

○インセンティブの付与：中小企業健康経営優良企業認定制度の創設

7. ヘルスケアビジネス創出に向けての取り組み

(1) 島根県ヘルスケア産業推進協議会の設立・運営

【協議会の役割】

○島根県におけるヘルスケア産業の方向性の検討

○医療・福祉機関と商工業者等との連携促進

○ビジネスモデルの円滑な創出に向けた対応

（グレーゾーンの解消に向けた対応、関係機関との調整等）

○ヘルスケア先進モデル構築支援事業で構築したビジネスモデルの検証、推進

○ヘルスケア産業の推進に向けた事業者や地域住民の意識醸成

(2) 分科会の実施内容

○別紙のとおり

(3) 島根発ヘルスケアビジネス先進モデル構築支援事業

○県内での先進的なモデルとなり得る取組を支援（県から連携団体へ委託）

(4) 事業化への支援

○産学官連携による事業課題の解決（科学的な検証、商品開発、資金供給等）

○市場開拓等を支援するアドバイザーの活用

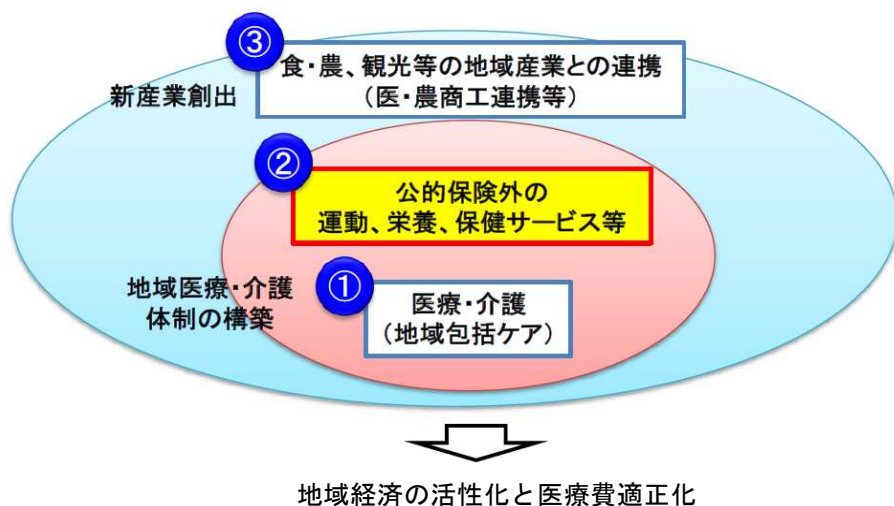
○市町村や国と連携したビジネスサポート

<参 考>

■地域でのヘルスケアビジネス創出の基本的考え方

〔平成26年11月、次世代ヘルスケア産業協議会において決定された「地域でのヘルスケアビジネス創出に向けた取組方針」から抜粋〕

- 厚労省が進める「地域包括ケアシステム」の構築を踏まえ(①)、さらにこれを補完する形で、運動・栄養・見守り・買い物支援等の医療・介護周辺サービス等を、グリーゾーン解消制度等を活用し、「公的保険外サービス」として創出(②)する。
- さらに、農水省や観光庁と協力し、医療・介護関係者や公的保険外サービス提供者が、農業・観光等との地域産業との連携による新たなヘルスケアビジネスを創出(③)することを支援する。



島根県ヘルスケア産業推進協議会 分科会の実施内容(案)

1. 分科会テーマ

ワーキンググループにおいて、関心の高かった以下の3テーマとする。
また、各分科会においてRuby等のIT技術を組み合わせた取り組みについても検討していく。

- ① ものづくり・食品産業（医×福×工）
- ② ヘルスツーリズム（農×食×観光）
- ③ 生活・健康支援（地域×医×福）

2. 構成員

各テーマに関係する企業、団体、高等教育機関、金融機関その他の団体に属する者により構成する。

3. 実施内容

ワーキンググループにおいて、ニーズの高かった勉強会、現地視察を中心に以下のような取り組みを行う。

- ・ 多様な分野の参加者による意見交換
- ・ セミナーや勉強会の開催
- ・ 現地（先進地）視察
- ・ 異業種交流、ビジネスマッチングの場の提供
- ・ ビジネスモデルの検討

4. スケジュール

8月 分科会参加者募集
9月～3月 分科会開催